

事業報告

令和5年度 大分県社会教育主事専門研修会

日時：令和5年10月20日（金）10：00～15：40

会場：大分県立香々地青少年の家

参加者：19名（4市町村5名、長崎県1名、県13名）

<趣旨>

県下の生涯学習・社会教育のより一層の振興を目指し、その中核的役割を果たす社会教育主事・社会教育士が一堂に介し、専門的社会教育職員としての知識・技能の向上とともに相互交流の活性化を図る。

【研修1】10：20～12：00

実習：社会教育主事・社会教育士の専門性に関するフィールドワーク
－青少年の家でのアプローチ－

講師：香々地青少年の家 主任社会教育主事 中野 吾一 氏



体験活動の役割や及ぼす効果等についての講義とともに、実際に野外でのフィールドワークを実施しながら青少年の家での活動を実体験しました。当日は雨予報でしたがフィールドワーク中は天気が持ってくれました。ただ、風が強かったため、間近に海が迫る遊歩道では、波の飛沫が顔にかかるほどでした。安全に留意しつつ、自然を満喫できました。

【研修2】 13:00~15:30

演習：専門的社会教育職員としての社会教育主事・社会教育士の役割

講師：香々地青少年の家 主任社会教育主事 中野 吾一 氏



勤務地や業務内容は違っても「社会教育主事」としての共通マインドを数多く発見することができました。お互いの業務上の悩みや困りに対しての共感力や想像力は同じ土台があるからこそそのものだと様々な場面で感じる事ができました。また、地域の様々な団体や個人とつながりながら仕事を進めている方々のお話を伺い、本当にたくさんの刺激をもらうことができました。

<参加者感想>

- 自然の中でとても有意義な研修を受けることができました。
- 青少年の家での勤務経験がなかったのでとても勉強になりました。社会教育主事として最低限の体験活動スキルを磨かなければと思いました。
- 社会教育主事としての専門性に対する考え方が変わりました。今まで漠然としていた事柄ですが、かなりクリアになったように思えます。
- 社会教育主事・社会教育士のネットワークを立ち上げたいですね。